

We supply the best use of space.

2012年12月期第2四半期 決算説明会資料

2012年7月31日

Exciting Company 感動とワクワク

エリアリンク株式会社



Arealink Co.,Ltd.

証券コード:8914

目次

Part- 決算概況

1.	2012年12月期第2四半期の概況	P4
2.	セグメント別利益率	P5
3.	四半期セグメント別売上高、売上総利益、営業利益	P6
4.	セグメント別売上高および売上総利益達成率	P7
5.	四半期別売上高および営業利益の推移	P8
6.	営業外および特別損益の内訳	P9
7.	財務の状況	P10
8.	有利子負債および現預金の推移	P11
9.	キャッシュフロー	P12

Part- 通期の見通し

1.	2012年12月期第2四半期の総括	P14
2.	通期業績見通し	P15
3.	通期見通しの前提と重点施策	P16

Part- 成長戦略

1.	成長戦略のポイント	P18
2.	確実な成長を実現するビジネスモデルの構築	P19
3.	ストレージ事業:市場規模	P20
4.	ストレージ事業:総室数と稼働率の目標、施策	P21
5.	ストレージ事業のポートフォリオ	P22

6.	不動産事業:空室率、平均賃料および空室面積	P23
7.	不動産売買事業:戦略と施策	P24
8.	今後の課題	P25
9.	経営目標	P26
10.	本日のポイント	P27
11.	Exciting Company	P28

Part- 参考資料

1.	当社の特徴	P30
2.	5カ年の主要指標	P31
3.	ストレージ事業の出店戦略	P32
4.	国内外ストレージ市場ランキング	P33
5.	ストレージ展開例/屋内ビルインタイプ	P34
6.	ストレージ展開例/屋外コンテナタイプ	P35
7.	保有不動産の内訳	P36

Part-

決算概況

- この資料の数字は億円単位未満四捨五入、百万円単位は切り捨てで表示しています。

2012年12月期第2四半期の概況

前期当期保有不動産の売却による受取賃料収入の減少により売上減も計画通り。
原価率の低減など収益構造の改善により営業利益増。
当期純利益は前期発生した特別利益の関係で当期は減益。



	2011年度 2Q累計		2012年度 2Q累計計画		2012年度 2Q累計(実績)		計画比		前年同期比	
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)	増減	増減率	増減	増減率
(単位: 百万円)										
売上高	5,606	(100.0)	4,900	(100.0)	4,951	(100.0)	50	1.0%	655	11.7%
売上原価	4,461	(79.6)	3,749	(76.5)	3,710	(74.9)	39	1.0%	750	16.8%
売上総利益	1,145	(20.4)	1,150	(23.5)	1,240	(25.1)	90	7.9%	95	8.3%
販売費及び 一般管理費	640	(11.4)	645	(13.2)	685	(13.8)	40	6.3%	45	7.1%
営業利益	505	(9.0)	505	(10.3)	555	(11.2)	50	10.0%	49	9.8%
経常利益	428	(7.6)	433	(8.8)	499	(10.1)	65	15.3%	70	16.4%
四半期純利益	529	(9.4)	407	(8.3)	446	(9.0)	38	9.6%	83	15.7%

全セグメントで売上・営業利益とも概ね順調に推移

単位:百万円

		2011年度(実績)		2012年度(予算)		2012年度(実績)	
		通期実績	利益率	上期予算	利益率	上期実績	利益率
ストレージ 運用	売上高	4,893		2,499		2,549	
	売上総利益	1,265	25.9%	665	26.6%	681	26.7%
	営業利益	901	18.4%	452	18.1%	458	18.0%
ストレージ 流動化	売上高	880		442		393	
	売上総利益	287	32.6%	135	30.5%	130	33.1%
	営業利益	85	9.8%	67	15.2%	34	8.8%
その他 不動産運用サー ビス	売上高	4,046		1,748		1,700	
	売上総利益	752	18.6%	323	18.5%	373	21.9%
	営業利益	595	14.7%	251	14.4%	293	17.3%
不動産運用サービス 合計	売上高	9,819		4,690		4,643	
	売上総利益	2,305	23.5%	1,124	24.0%	1,184	25.5%
	営業利益	1,583	16.1%	771	16.4%	787	17.0%
不動産再生・ 流動化サービス	売上高	783		210		308	
	売上総利益	59	7.6%	26	12.6%	56	18.2%
	営業利益	42	5.4%	25	12.0%	41	13.4%
その他	売上高	0		0		0	
	売上総利益	0		0		0	
	営業利益	581		291		273	
合計	売上高	10,603		4,900		4,951	
	売上総利益	2,365	22.3%	1,150	23.5%	1,240	25.1%
	営業利益	1,044	9.9%	505	10.3%	555	11.2%

四半期セグメント別売上高、売上総利益、営業利益

期間損益も全セグメントで順調に推移。
不動産再生流動化サービス案件も引続き利益貢献の見通し

単位:百万円

		2010年 度(通期) 累計	2011年度					2012年度		
			1Q期間	2Q期間	3Q期間	4Q期間	累計	1Q期間	2Q期間	2Q累計
ストレージ 運用	売上高	4,770	1,202	1,229	1,236	1,224	4,893	1,254	1,295	2,549
	売上総利益	1,051	260	341	333	331	1,265	335	346	681
	営業利益	713	161	261	232	245	901	227	231	458
ストレージ 流動化	売上高	610	80	253	77	468	880	127	265	393
	売上総利益	194	30	73	28	155	287	41	88	130
	営業利益	102	10	21	16	91	85	10	45	34
その他 不動産運用 サービス	売上高	4,702	1,038	1,028	998	980	4,046	875	824	1,700
	売上総利益	854	187	192	185	186	752	189	183	373
	営業利益	678	152	156	149	137	595	149	144	293
不動産運用サービス 合計	売上高	10,083	2,321	2,511	2,312	2,674	9,819	2,257	2,385	4,643
	売上総利益	2,101	477	607	547	673	2,305	566	618	1,184
	営業利益	1,493	303	439	365	475	1,585	366	420	787
不動産再生・ 流動化サービス	売上高	1,059	708	64	0	9	783	42	265	308
	売上総利益	74	23	37	0	1	59	7	48	56
	営業利益	44	8	36	0	1	42	4	36	41
その他	売上高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	売上総利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	営業利益	530	160	121	127	171	583	142	130	273
合計	売上高	11,143	3,030	2,576	2,312	2,683	10,603	2,299	2,651	4,951
	売上総利益	2,176	501	644	547	672	2,365	573	667	1,240
	営業利益	1,006	151	354	237	301	1,044	228	326	555

セグメント別売上高および売上総利益達成率

	2011年度		2012年度(予算)				2012年2Q累計(実績)				
	2Q累計	構成比	通期	構成比	期初上期	構成比	実績	構成比	達成率	期初上期達成率	
売上高	不動産運用サービス	4,833	86.2%	9,640	93.4%	4,690	95.7%	4,643	93.8%	48.2%	99.0%
	ストレージ運用	2,432	43.4%	5,073	49.2%	2,499	51.0%	2,549	51.5%	50.3%	102.0%
	ストレージ流動化	334	6.0%	1,043	10.1%	442	9.0%	393	7.9%	37.7%	88.8%
	駐車場	730	13.0%	1,340	13.0%	676	13.8%	637	12.9%	47.6%	94.2%
	アセット	856	15.3%	1,527	14.8%	722	14.8%	706	14.3%	46.2%	97.7%
	SOHO	310	5.5%	589	5.7%	293	6.0%	290	5.9%	49.4%	99.2%
	その他	169	3.0%	64	0.6%	54	1.1%	65	1.3%	100.7%	118.9%
	不動産再生・流動化サービス	773	13.8%	680	6.6%	210	4.3%	308	6.2%	45.3%	146.8%
合計	5,606	100.0%	10,320	100.0%	4,900	100.0%	4,951	100.0%	48.0%	101.0%	
売上総利益	不動産運用サービス	1,084	94.7%	2,361	96.5%	1,124	97.7%	1,184	95.5%	50.2%	105.4%
	ストレージ運用	606	52.9%	1,351	55.2%	665	57.8%	681	54.9%	50.4%	102.4%
	ストレージ流動化	103	9.0%	319	13.0%	135	11.7%	130	10.5%	40.8%	96.4%
	駐車場	34	3.0%	67	2.7%	23	2.1%	48	3.9%	72.0%	202.6%
	アセット	205	17.9%	470	19.2%	212	18.5%	216	17.4%	46.1%	101.8%
	SOHO	50	4.4%	107	4.4%	49	4.3%	61	4.9%	57.1%	122.9%
	その他	84	7.3%	47	1.9%	37	3.2%	46	3.8%	99.6%	126.1%
	不動産再生・流動化サービス	60	5.2%	85	3.5%	26	2.3%	56	4.5%	65.4%	211.7%
合計	1,145	100.0%	2,447	100.0%	1,150	100.0%	1,240	100.0%	50.7%	107.8%	

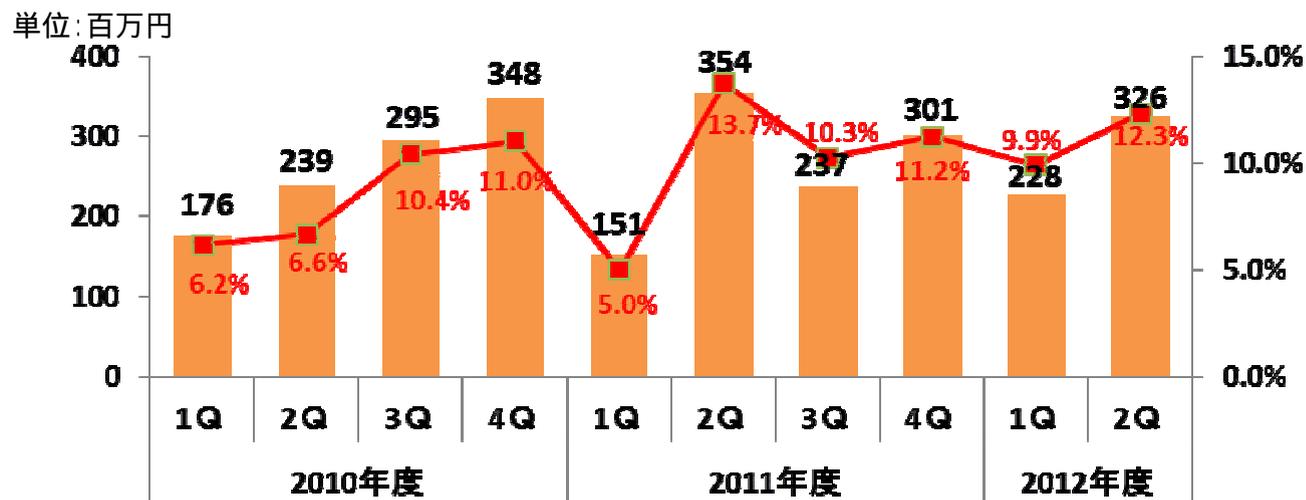
四半期別売上高および営業利益の推移

原価率の低減で収益体質強化、営業利益率も順調に増加

売上高と
売上総利益率の推移



営業利益と
営業利益率の推移



営業外および特別損益の内訳

借入金の減少に伴い、支払利息も減少

営業外収益
違約金収入 6百万円

営業外費用
支払利息 62百万円

特別利益
固定資産売却益 9百万円

特別損失
固定資産除却損 31百万円

(単位:百万円)

段階利益	2011/3 1Q 期間	2011/6 2Q 期間	2011/6 2Q 累計	2012/3 1Q 期間	2012/6 2Q 期間	2012/6 2Q 累計	前年同期比 増減	前年同期比 (%)
営業利益	151	354	505	228	326	555	49	9.8
営業外収益	3	10	14	5	17	23	8	55.6
営業外費用	47	44	91	37	41	79	12	13.5
経常利益	107	320	428	196	302	499	70	16.4
特別利益	5	152	158	9	2	12	145	92.2
特別損失	80	106	186	26	6	33	153	82.3
税引前四半期純利益	32	367	400	180	298	478	78	19.6
法人税等	2	2	4	1	1	3	1	25.7
法人税等調整費	132	1	133	21	6	28	162	121.4
四半期純利益	162	366	529	156	289	446	83	15.7

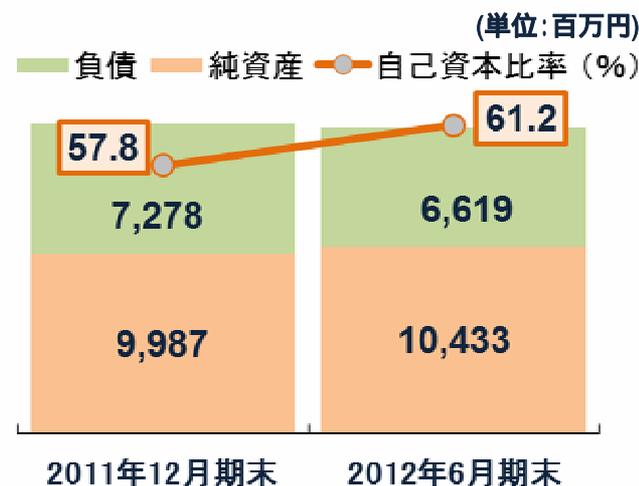
有利子負債の圧縮と利益の増加により自己資本充実

財務状況

2012/12期第2四半期末 ()内は2011/12期末比

資産 170.5億円 (2.1億円)	負債 66.2億円 (6.6億円)	負債
	純資産 104.3億円 (+4.5億円)	純資産

負債・純資産・自己資本比率



(単位:百万円)	2011/12末	2012/6末
流動資産	5,503	6,827
固定資産	11,762	10,225
資産合計	17,266	17,052
流動負債	2,137	2,172
固定負債	5,140	4,446
負債合計	7,278	6,619
純資産合計	9,987	10,433

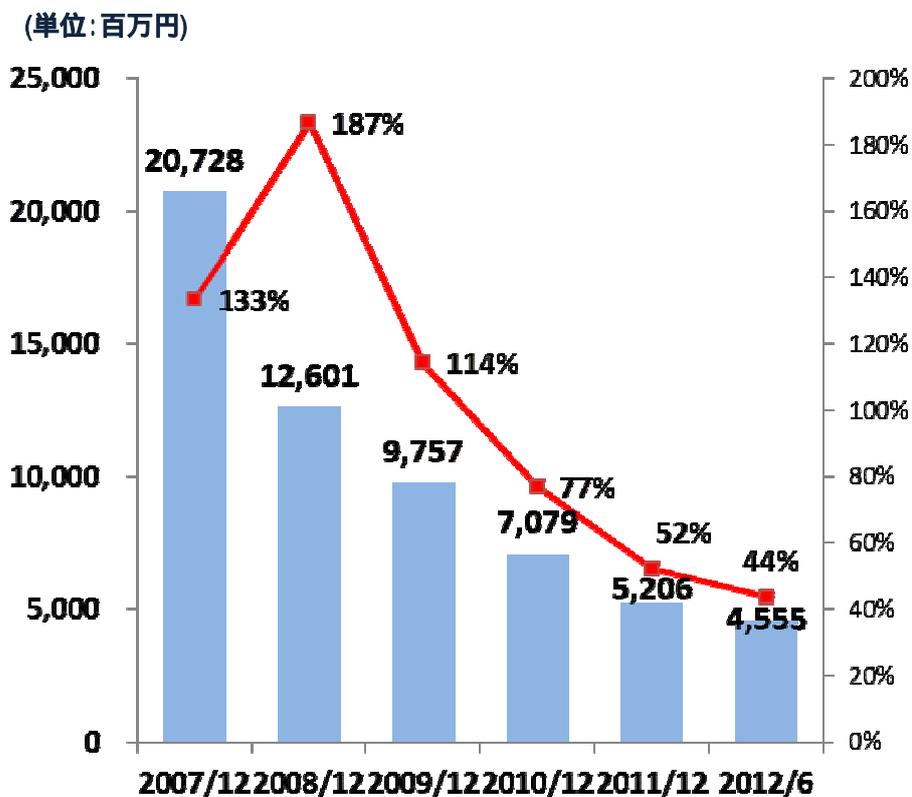
販売用不動産の増加	8.4億円
現金及び預金の増加	4.0億円
有形固定資産の減少	19.4億円

1年内返済予定の長期借入金の増加	1.8億円
長期借入金の減少	8.4億円
工事未払金の減少	1.0億円

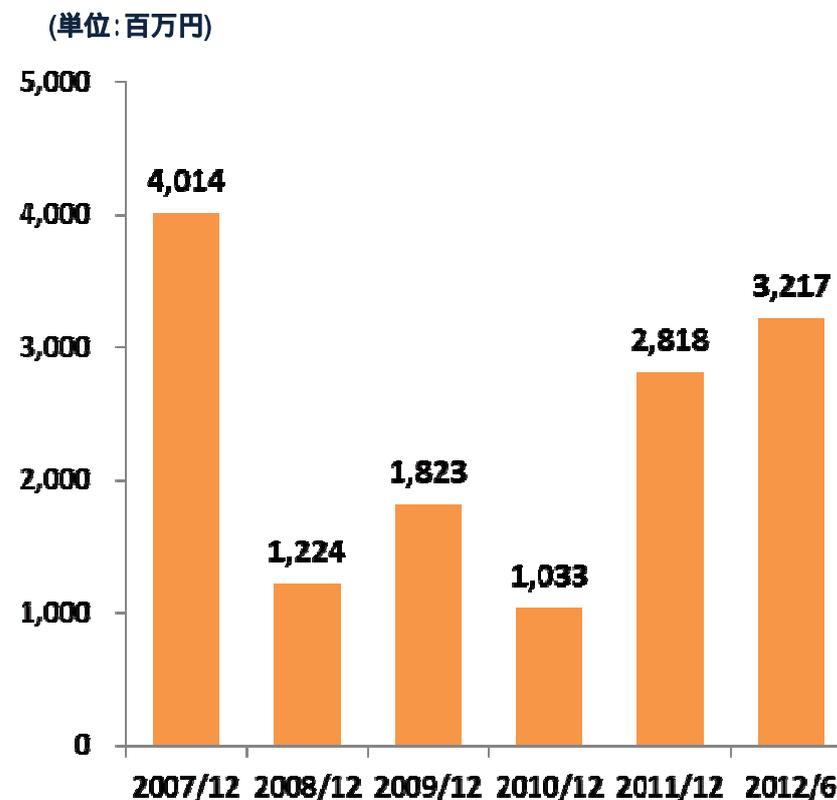
利益剰余金の増加	4.5億円
----------	-------

有利子負債の圧縮と現預金の増加で持続的成長投資への準備が整う

有利子負債、有利子負債比率



現金及び預金



業績改善でCF残高増加基調へ

(単位:百万円)

	2011年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	
営業活動によるCF	1,449	345	税引前四半期純利益 4.8億円 減価償却費 3.4億円 たな卸資産の増加 8.1億円 未払消費税等の減少 1.0億円
投資活動によるCF	687	1,418	有形固定資産の売却による収入14.1億円
財務活動によるCF	2,049	674	長期借入による収入 3.9億円 長期借入の返済による支出 10.5億円
四半期末現金残高	1,121	3,217	

Part-

通期の見通し

- 上期の業績目標を達成、順調に推移
- ストレージ運用が順調
- 現金による不動産売買が順調、保有不動産も収益に貢献
- 経常利益は当初計画を15%上回る

- 事業運営の標準化が進展
- ストレージの出店と将来の運用を安定化できる仕組みづくり
 - 物件調査を行うコンシェルジュスタッフ用のオフィスを設置。
関東全域を網羅するローラー作戦で優良物件を確実に発掘
 - トランクルームの契約手続きの簡素化で顧客の利便性を向上
 - 社内コミュニケーション強化による社内改革の推進

- 「みんなで大家さん」とのコラボレーションが第4の柱となる
新たな事業としてスタート。
収益不動産事業の将来性を再認識

都市総研インベストファンド株式会社が保有している不動産の、安定した賃料を分配する不動産シェアリングです。日々の価格変動がない不動産特定共同事業法に基づく不動産投資商品です。

前期売却不動産の賃料収入の減少の影響もあり、売上高は若干減少するも利益は向上し、順調に推移。通期は期初予想から変更なし。



	2011年度		2012年度		前期比	
	実績	(%)	予想	(%)	増減	増減率
(単位:百万円)						
売上高	10,603	(100.0)	10,320	(100.0)	283	2.7%
営業利益	1,044	(9.8)	1,147	(11.1)	102	9.8%
経常利益	953	(9.0)	1,000	(9.7)	46	4.9%
当期純利益	772	(7.3)	943	(9.1)	170	22.1%

下半期は各事業が安定化していくための土台作りに注力

■ ストレージ市場

災害時のリスク分散機能が見直され、さらに活況を呈す見通し
コンサルティングの標準化を促進し、安定出店と運用に注力

■ 収益不動産市場

景況感の悪化と不安定な株式市場のなか、不動産への期待が高まる
投資回収が比較的早く、利回りの高い収益不動産の運用に注力



適応能力が高く、リスクに強い会社

Part-
成長戦略

中期経営方針

■ 事業基盤の強化

ストレージ事業とアセット事業の拡大によるストック型ビジネスの確立

■ 不動産売買の再開

借入金に依存しない範囲内で、店舗・事務所ビルを中心とした不動産
売買の再開

■ 人材育成の充実

働きやすい職場環境の整備、業務効率化とワークライフバランスの
実現

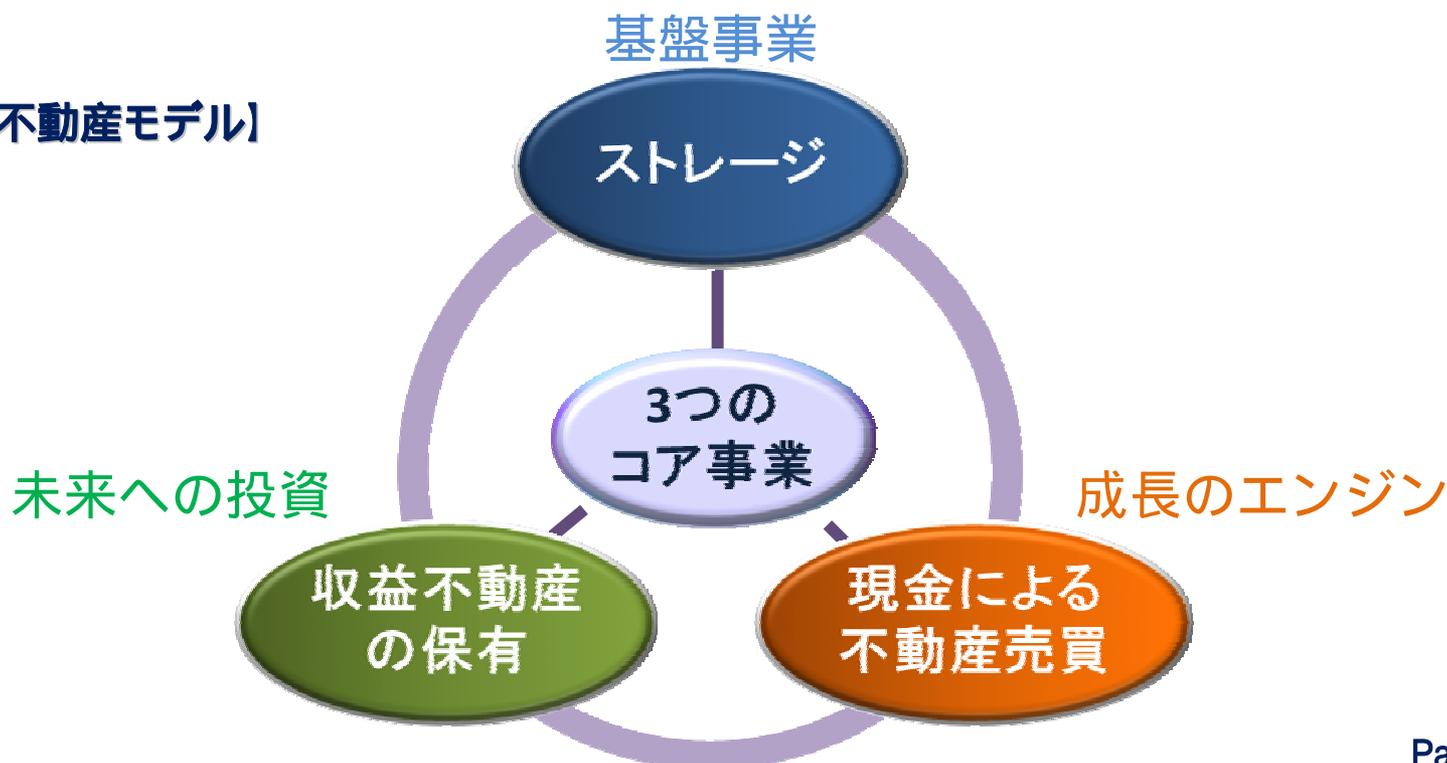
■ 早期の復配

安定した利益確保・財務基盤の強化による継続した株主への還元と
配当性向の向上

- 不動産売買：関東だけで400件を超えるオーナーネットワークで予め注文を確保し現金で物件を売買
- 収益物件の保有管理：テナントなど賃料収入が見込める物件を売却前提で保有
- 年8%以上の投資収益を目標に、借入金と自己資金を最適なバランスで投資
- オフィスの空室をストレージへ転用も

3つのコアビジネスのシナジー効果で収益基盤の安定と高成長を実現

【理想の不動産モデル】

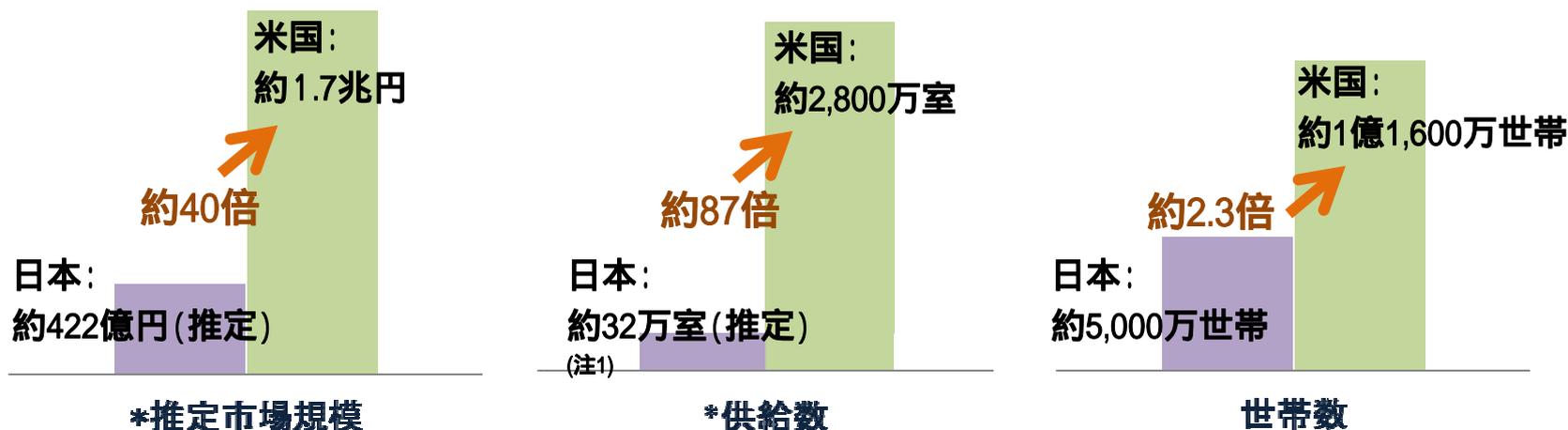


成長する国内ストレージ市場、将来は米国並みに拡大すると予想

- 国内ストレージ 市場規模(推定値/2011) 422億円
- 当社ストレージ 売上高 48.9億円
- 当社シェア 11.6% (国内No.1)

米国と日本のデータ比較

推定利用割合
米国: 10世帯に1室
日本: 220世帯に1室(推定値)



1ドル = 80円換算

日本の推定市場規模と供給数は2011年の推定値です。
(注1)倉庫業とは異なるレンタル収納スペースとしての室数

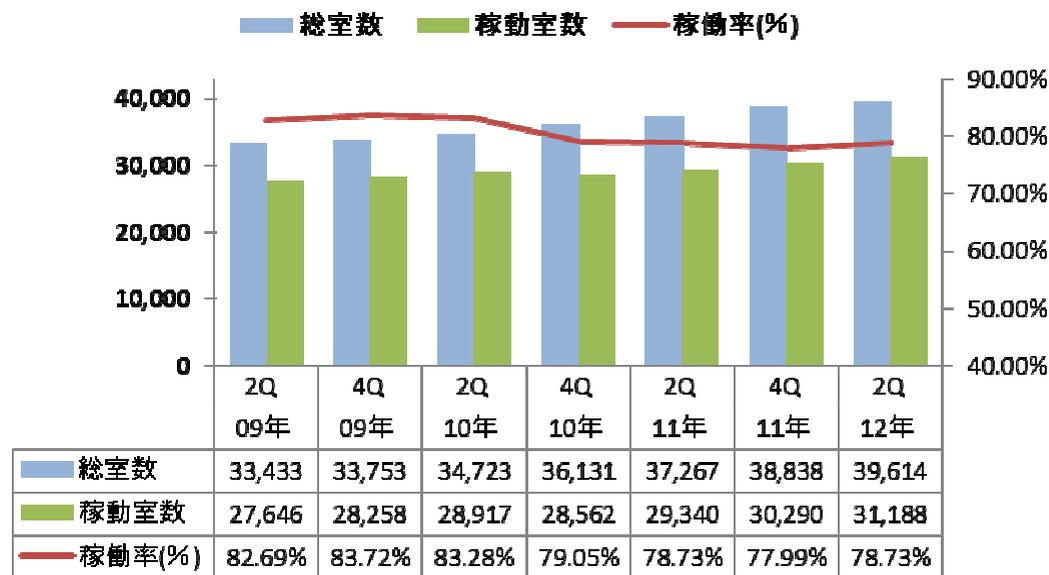
参照: 『拡大する収納ビジネス市場の徹底調査』2011年版/全国版(国内)
Self Storage Almanac 2012(米国)

ストレージ運用の顧客満足度を高めて稼働率が向上。郊外・地方への出店も加速

- ストレージ(運用)
 防災サービスの拡充等による
 競合他社との差別化により、
 顧客満足度向上を目指す

- ストレージ(流動)
 2012年の3,840室出店から
 2014年は5,040室出店、首都圏中心の出店から郊外・
 地方主要拠点本格展開へ

総室数、稼働室数、稼働率の推移

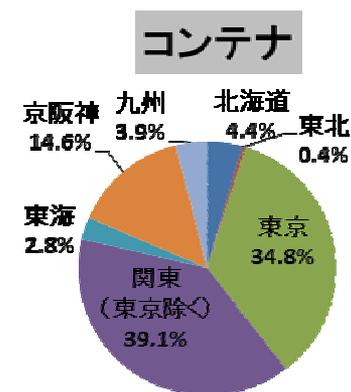
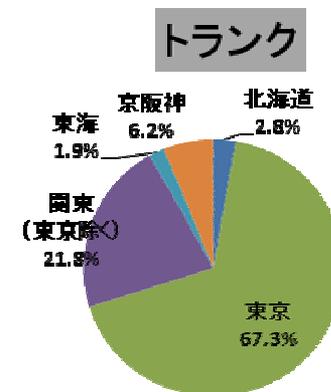


稼働率は、新規出店の室数を含めています。

首都圏の好立地に所在、出店とクオリティの高いサービスで稼働率向上をめざす

(室数) 2012年6月末時点

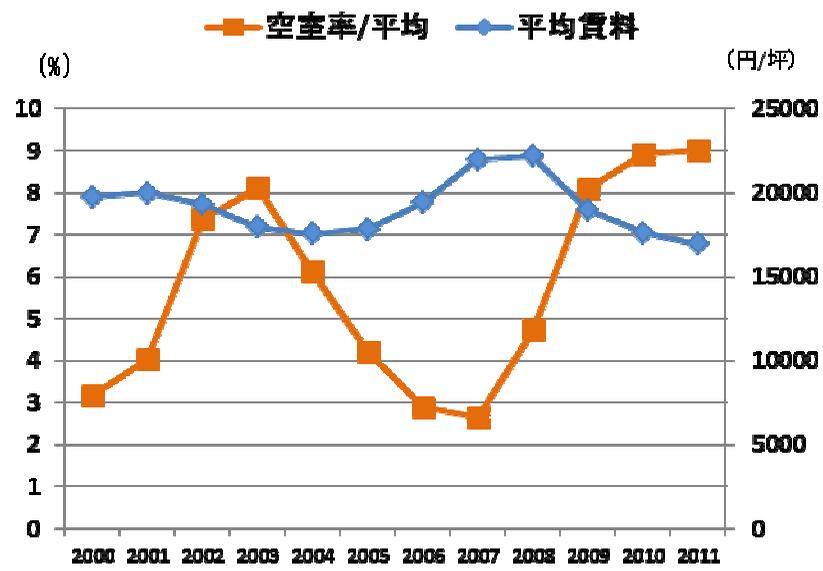
都道府県	トランク	コンテナ	合計	総室数に占める割合
北海道	426	1,052	1,478	3.7%
宮城	-	101	101	0.3%
埼玉	672	2,957	3,629	9.2%
千葉	273	4,917	5,190	13.1%
東京	10,417	8,394	18,811	47.5%
神奈川	2,426	1,553	3,979	10.0%
愛知	253	678	931	2.4%
三重	50	-	50	0.1%
京都	84	-	84	0.2%
大阪	828	1,603	2,431	6.1%
兵庫	47	1,747	1,794	4.5%
福岡	-	251	251	0.6%
熊本	-	48	48	0.1%
大分	-	26	26	0.1%
鹿児島	-	449	449	1.1%
沖縄	-	173	173	0.4%
合計	15,476	24,138	39,614	100%



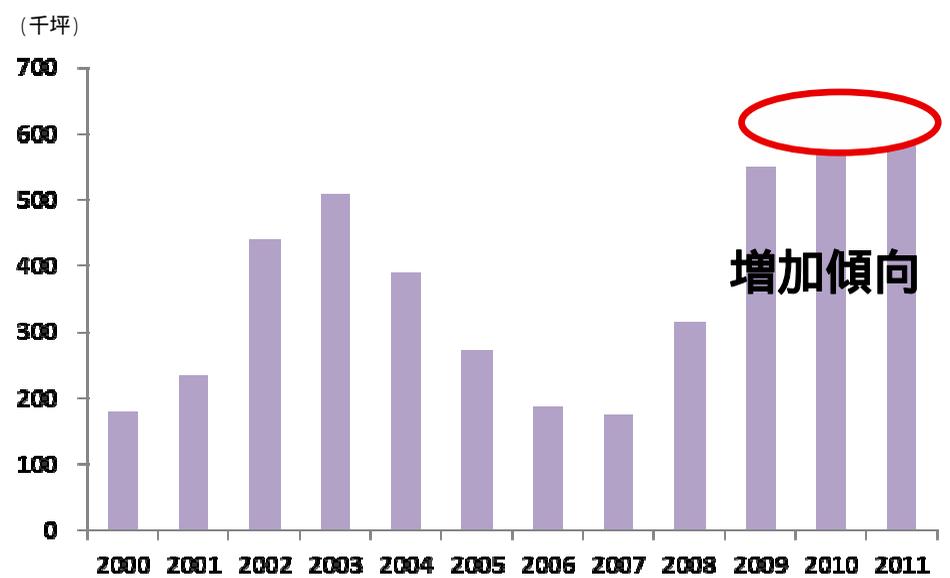
都心のオフィス供給過剰による空室率上昇、体力により、不動産関連企業選別のステージに

東京ビジネス地区(東京都心5区)の賃貸事業市場動向

空室率/平均および平均賃料の推移



空室面積



参照:三鬼商事株式会社 東京(都心5区)の最新オフィスビル市況 2012年1月号

店舗・事務所ビルを中心とした収益不動産の購入を計画する等、
売上・利益ともに拡大成長へ

	2012年度の投資額(予定)	平均収益率(見込み)
収益不動産売買事業	10億円	10%
長期保有のアセット事業	10億円	8%
「みんなで大家さん」との コラボレーション事業	5.7億円	12%

上期の主要物件の事例



【クリオ黄金町1階店舗】
・神奈川県横浜市
中区初音町
・京浜急行電鉄
『黄金町』駅徒歩1分
・平成23年2月新築
・RC造10階建1階部分
・専有面積: 107.59m²



【シティハウス仙川
1階店舗】
・東京都府中市仙川町
・京王線『仙川』駅
徒歩5分
・平成16年5月新築
・RC造地下1階5階建
1階部分
・専有面積: 71.92m²

人材育成

- 新入社員の採用を中心に2014年末までに15名増員
- 人材育成の充実、意識改革の強化
 - 人材の異動等による社内活性化の推進と働きやすい職場環境の整備
 - 業務効率化とワークライフバランスの実現
 - 環境整備の徹底による効率化の推進、打ち合わせ記録・懸案事項処理表、ダイアリーと豆ノートの活用を徹底し、課題を抽出
- エリアリンクマスター制度による責任者クラスの社員への指導。マスター(指導員)の資格を取得すると昇給のインセンティブ。

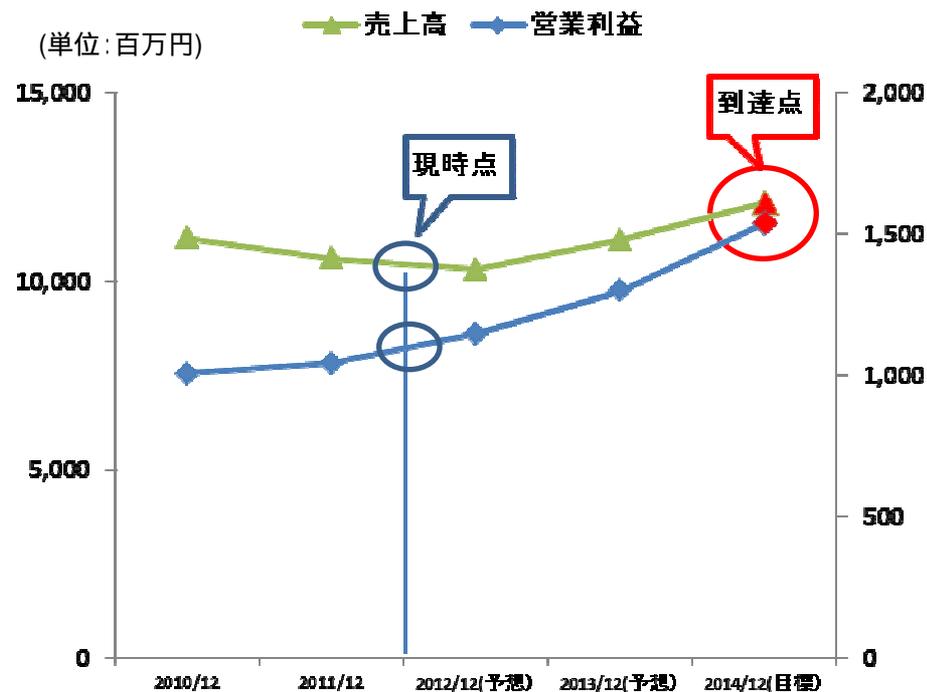
早期復配

- 再投資のための内部資金の確保と安定配当を重視
 - 早期復配および配当性向30%を目標
 - 持続的に利益が計上できる収益基盤の確保

変化をチャンスに！
効率経営で規模、利益ともに拡大をめざす

■ 2014年12月期目標数値

売上高： 12,077百万円
営業利益： 1,540百万円
営業利益率： 12.8%
経常利益： 1,417百万円
当期純利益：1,405百万円
ROA： 6.9%
自己資本比率： 66.6%
流動比率： 329.5%



ポイント1

各事業とも順調に進展、収益構造も改善し営業利益は前期比9.8%、経常利益は前期比16.4%と大幅増収。当期純利益は前期税効果会計発生の影響で減益も、目標上回る

ポイント2

ストレージ事業のコンサルティングのローラー作戦で、効率的・安定的な事業運営の標準化が進展

ポイント3

現金による不動産売買は、収益回収が早く、利益率が高いことを確認。今後の収益への貢献を確信

ポイント4

「みんなで大家さん」とのコラボレーションが好調にスタート。第4の柱となる事業として期待



成長加速

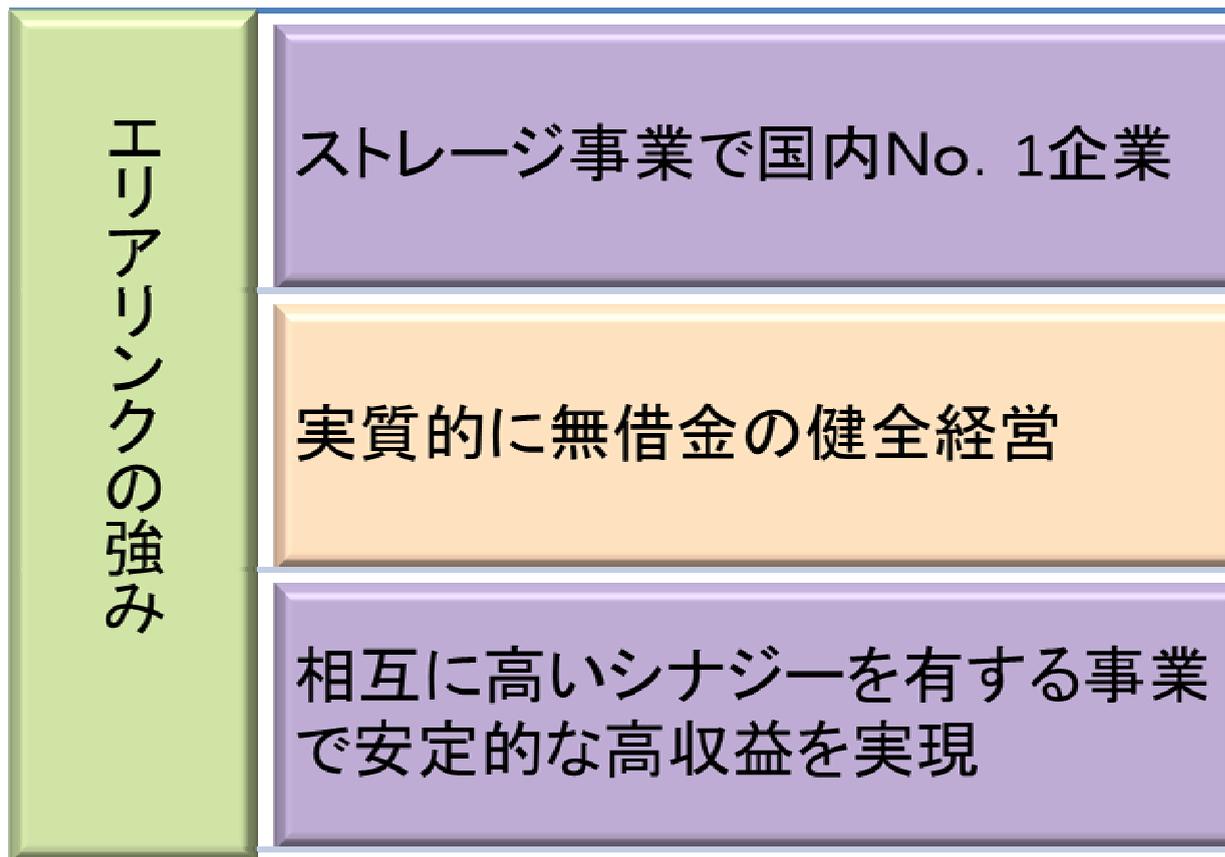
Exciting Company

感動とワクワク

世の中に便利さと楽しさと感動を提供する

Part-

參考資料

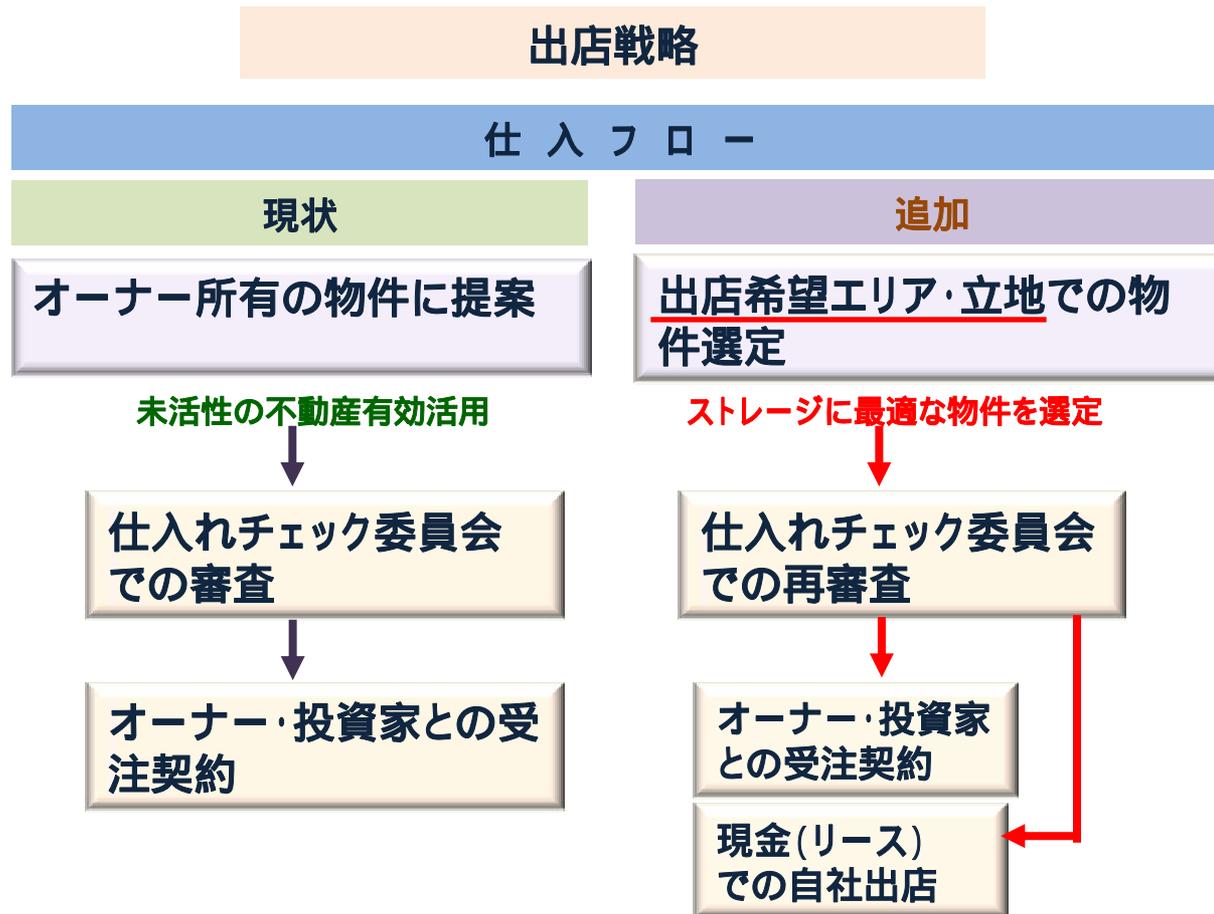


5 年間の主要指標

(単位: 百万円)

	2007/12	変化率(%)	2008/12	変化率(%)	2009/12	変化率(%)	2010/12	変化率(%)	2011/12
売上高	29,952	-45.4%	16,347	-25.5%	12,183	-8.5%	11,143	-4.8%	10,603
売上総利益	7,174	-73.3%	1,912	21.2%	2,317	-6.1%	2,176	+8.7%	2,365
売上総利益率(%)	24.0	-12.3pt	11.7	+7.3pt	19.0	+0.5pt	19.5	+2.8pt	22.3
販売費及び一般管理費	3,060	-35.6%	1,970	-39.3%	1,196	-2.3%	1,169	+12.9%	1,320
営業利益	4,113		58		1,121	-10.2%	1,006	+3.8%	1,044
営業利益率(%)	13.7		0.4		9.2	-0.2pt	9.0	+0.8pt	9.8
経常利益	3,745		516		827	-6.4%	774	+23.1%	953
当期純利益	1,636		8,254		557	+20.8%	673	+14.7%	772
ROA(%)	4.7		27.1		2.7	+0.7pt	3.4	+0.9pt	4.3
ROE(%)	11.0		74.1		7.3	+0.3pt	7.6	+0.4pt	8.0
有利子負債	20,728	-39.2%	12,601	-22.6%	9,757	-27.4%	7,079	-26.5%	5,206
総資産	39,319	-45.1%	21,600	-5.8%	20,355	-8.1%	18,701	-7.7%	17,266
純資産	15,533	-56.7%	6,733	+26.6%	8,523	8.1%	9,214	8.4%	9,987
自己資本比率(%)	39.5	-8.3pt	31.2	+10.7pt	41.9	+7.4pt	49.3	+8.5pt	57.8
1株当たり当期純利益(円)	1,649.67		8,507.04		538.22	+1.9%	548.48	+14.7%	629.31
1株当たり純資産額(円)	15,632.30	-55.4%	6,976.03	-0.5%	6,942.68	+8.1%	7,506.06	+8.4%	8,135.45
従業員数(人)	62	+11.3%	69	-10.1%	62	-3.2%	60	+21.7%	73

予め顧客を獲得したのち出店することで損益分岐点到達期間を圧縮



**損益分岐点到達期間の短縮を実現
運用効率の向上を図る**

米セルフストレージ業界の上位3社 (2011年度)

順位	会社名	店舗数	室数	シェア(室数)
1	パブリックストレージ	2,241	1,350,000	4.76%
2	エクストラスペース	835	555,500	1.96%
3	U ホール	1,119	414,706	1.46%
上位10社		5,562	3,167,070	11.18%
全体		50,048	28,320,000	100%

参照: Self Storage Almanac 2012

米国シェア1位のパブリックストレージ社

ストレージ売上高 1,376億円

経常利益 619億円

(2011年度Annual Reportより)(1ドル80円換算)

国内ストレージ市場における当社の位置

	会社名	店舗数	室数	シェア(室数)
1位	エリアリンク	681	38,838	12.12%
2位	A 社	638	30,713	9.58%
3位	B 社	39	23,100	7.20%
4位	C 社	353	21,700	6.77%
5位	D 社	235	10,565	3.29%
	全体	6,297	320,427	100%



ストレージ展開例/屋内ビルインタイプ



町田



あざみ野



向ヶ丘遊園



飯田橋



足立竹ノ塚2



等々力目黒通り



六本木4



杉並井荻



名古屋東片端



大阪・新北島2



市ヶ尾



江古田



大杉五丁目



大森山王



東雲



田端新町2



大阪・吹田新御堂筋



高円寺高架下



武蔵中原



八千代



札幌白石



日本橋堀留町



【内部造作前】



【内部造作後】

ストレージ展開例/屋外コンテナタイプ



瑞穂町



柏たなか



足立栗原



秋川



江戸川鹿骨



清瀬3



新鎌ヶ谷駅前



四街道



江戸川中央



東大和清水



足立西保木間



八王子東中野



元住吉



狭山入曽



綾瀬かしわ台



江戸川新堀



足立梅島



戸田美女木



東村山富士見町



市川本北方



葛飾東新小岩



西東京パート2



兵庫・伊丹北本町



大阪・寝屋川

主要物件例(一部)

物件名	所在地	用途	帳簿価額 (土地・建物) 単位:百万円
下井草	東京都杉並区	ストレージ	193
町田	東京都町田市	ストレージ	256
学芸大学前2	東京都世田谷区	ストレージ	179
神田BMビル	東京都千代田区	本社、店舗	1,058
ベストイン魚津	富山県魚津市	ホテル	323
ベストイン甲府	山梨県甲府市	ホテル	299
弘前ホテル	青森県弘前市	ホテル	1,877
ベストイン鹿島	茨城県神栖市	ホテル	437
ベストイン八日市	滋賀県東近江市	ホテル	313
ベストイン近江八幡	滋賀県近江八幡市	ホテル	509

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、資料作成時点において、当社が合理的に入手し、可能な情報に基づいて、予測し得る範囲内で判断をし、作成した資料です。

しかし実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または結果など、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的に開示を努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

お問合せ先: エリアリンク株式会社 社長室
TEL / 03-5577 9255 FAX / 03-5577-9223